

平成 30(2018)年度
一橋大学大学院国際・公共政策教育部(国際・公共政策大学院)
専門職学位課程
春季社会人特別選考 第2次試験(小論文)問題
〔公共法政プログラム〕

受験番号 _____

日 時 平成30年2月8日(木)
試験時間 10時00分～11時30分 (90分)

注意事項

- (1) 問題用紙、解答用紙及び下書用紙には、受験番号だけを書き、氏名を書かないでください。
- (2) 問題用紙、解答用紙及び下書用紙は、試験室から持ち出さないでください。
- (3) 受験票は机の上においてください。
- (4) 受験票と筆記用具以外のものは机の上に出さないでください。
- (5) 携帯電話は電源を切り、かばんの中にしまってください。
- (6) 時計等についているアラーム機能、計算機能、翻訳機能、その他時計以外の機能をOFFにしてください。
- (7) 試験中に体調不良または手洗所に行く等の理由で試験室から一時退室しようとする場合は、監督員に申し出てください。
- (8) 不正行為を行った者または監督員の指示に従わなかった者は、失格とします。
- (9) 問題用紙、解答用紙及び下書き用紙は、試験終了後に全て回収します。

問 題

現在、我が国では、2020年に訪日外国人旅行者数4000万人を目指す、という目標を掲げている。この目標を達成するために、下記の3つの視点を踏まえ、国及び地方公共団体が、それぞれ講じるべき施策について所見を述べなさい（解答全体で1,200字以内とする）。

視点1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に

視点2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に

視点3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

（出典：「明日の日本を支える観光ビジョン」平成28年3月30日「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」決定）